

草枕 (くさまくら)

酒を飲んだオロチが枕にして寝た山とされています。

尾留大明神旧社地

(おとめだいみょうじんきゅうしゃち)

スサノオは、この地でオロチの尾を開き「天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)」を取り出したと伝えられています。

八本杉 (はちほんすげ)

退治したオロチの八つの頭を埋め、八本の杉を植えたと伝えられています。

八俣大蛇公園 (やまたのおろちこうえん)

スサノオが、箸が流れてくるのを見つけ、拾った場所といわれています。

河辺神社 (かわべじんしゃ)

クシナダヒメが産湯に使う良い水を探し求めて、河辺神社をお産所に選ばれたといわれています。

印瀬の壺神 (いんせのつぼがみ)

印瀬の八口神社の境内にある壺は、スサノオがオロチ退治の時に酒を入れた八つの壺のうちの一つと伝えられています。

天が淵 (あまがふち)

オロチが住んでいたところといわれています。

佐世神社 (させじんしゃ)

スサノオが木の枝を頭に挿して躍ったとき、落ちた枝を地面に挿させたことから「佐世」という地名になったと伝えられています。佐世神社には、その枝が成長したとされるシイの巨木が残っています。

釜石 (かまいし)

スサノオがオロチ退治に使用した酒を造らせた釜石であると伝えられています。

長者の福竹 (ちやうじやのふくたけ)

アシナツチ、テナツチとクシナダヒメが、オロチから逃れるとき、この地で休憩したといわれています。その際、使っていた竹の枝を地面に立てたところ、枝から根が出てきたと伝えられています。

温泉神社 (おんせんじんしゃ)

天が淵の近くにある万歳山には、アシナツチ、テナツチが住んでいたとされています。この山腹にあった二人を祀る神岩が、現在温泉神社の境内に安置されています。

須我神社 (すがじんしゃ)

スサノオがオロチを退治し、クシナダヒメとともに宮造りをした「日本初の宮」として知られています。

